

2023年度唐崎教会典礼部振り返り

典礼部長：篠田文子

2023年はコロナ禍によるミサ制限も解除され、ほぼ通常通りのミサが開催されるようになり次の通り主日ミサの奉仕を少し変えました。

1. 主日ミサ奉仕について

主日ミサ典礼奉仕についてはある程度固定化したメンバーに変えました。特に朗読奉仕者（預言職）の心の準備も含めた事前準備を徹底することによりミサ典礼奉仕の充実を図りました。

2024年度は、この輪をさらに広げ豊かなミサ典礼を目指します。ミサ典礼奉仕をご一緒にして下さる方は典礼部員にお声かけ下さい。

また、会衆の方も朗読のときは「聖書と典礼」を読むのではなくみ言葉に耳を傾けていただくようお願いします。

2. 主日ミサ侍者奉仕について

今年度はコロナ感染防止の観点からも限られた人のみで侍者奉仕をしていました。

2024年度は子供に限らず中高生、大人も含め侍者奉仕をしたいと思います。唐崎教会の青年は小学生の時ほとんどの人が侍者をしていましたのでその恵みを子供たちに伝えてほしいと思います。

3. ミサ式次第作成について

仮新ミサ式次第が傷んでしまったので、新たにミサ曲も含めた小型化した新ミサ式次第を皆さんのご意見を伺いながら作成しました。

唐崎教会独自の素晴らしい式次第となりました。



4. 典礼研修会開

2023年7月8日（土）大津教会にてソ神父さまのご指導で開催。

講話内容は次の通り非常に良いお話でした。

典礼全般について：

典礼とは集まった共同体が心地よく神様を賛美できること、集まった人が一緒に心を込めてお祈りができることが重要です。お祈りの中でも一番大切なお祈りは「ミサ」です。何故ならミサは生きた神様と対面してするお祈りだからです。

集会祭儀について：

滋賀ブロックでは集会祭儀の式次第をお配りしましたが、ほとんどミサに近い形になっていると思います。唯一抜けているところがあります。聖変化です。最後の晩餐の再現が抜けています。

ご聖体が一番大切なことで皆さんがご聖体を頂くことに変わりはありませんが、聖変化に共に参加すること、そして奉納があるかないかが大きく違います。

奉納は私たちの心を込めたものを捧げ、それがイエス様の体になることこれがミサで行われる最後の晩餐の再現です。その聖変化があるとないとでは気持ちかなり変わると思います。

集会祭儀で物足りなさを感じてしまうのは、たぶんのその為だと思います。

<続く>